

総 会 報 告

事務長 小川吉晴

昭和54年度同窓会総会は、10月28日(日)に母校寮食堂において行なわれました。

2年ぶりに開催された総会は、同窓生148名、旧教職員5名、母校からは樋口学校長をはじめとする教職員の方々の御出席をいただき、総勢約180名になりました。

午後0時15分より、司会の伊達(M1)の開会の辞に始まり、議長団には、議長宮下(M1)、副議長井林(M3)、書記中村(C8)が選出され、望月会長(M1)の挨拶の後、議事にはいりました。

先ず、事務長の小川(E5)より昭和52, 53年度収支決算報告がなされ、監事水上(E5)よりの監査報告があり、圧倒的多数にて承認されました。次に、会長より昭和53年度業務報告、続いて昭和54年度業務中間報告および昭和54年度業務計画案が提案され承認を受けた後、昭和55, 56年度の次期三役の選出が行なわれました。

筒井副会長(M6)より会長に仁料和晴(M2)、副会長に近藤博明(M8)、事務長に坂井徳尚(M6)の各候補が推薦され、満場一致で三君が夫々、選出されました。

次期三役を代表して近藤次期副会長の挨拶の後、議長団の解任により、無事、総会を閉会致しました。

引続き、跡部(M1)の司会のもとに、懇親会に移り、同窓会名誉会長の樋口学校長の挨拶、そして、来賓の岡田先生の祝辞の後、鈴木(E1)の音頭にて乾杯、歓談となりました。歓談中、来賓の方々の祝辞をいただき、なつかしい教職員の方々の挨拶や歌声を披露していただきました。出席した会員諸兄も、恩師の方々や旧友とのひさしぶりの再会に話がはずみ楽しい一時をすごしました。

最後に恒例の近藤(M8)の指揮による校歌斉唱、跡部(M1)の音頭による万才三唱にて、めでたく閉会しました。

昭和52年度運営会計経費収支決算報告書

抛 出 収 入

科 目	決算額	予算額	比 較
終 身 会 費	1,375,000	1,390,000	△ 15,000
受 取 利 息	76,681	80,000	△ 3,319
総会懇親会会計より	62,930	0	62,930
合 計	1,514,611	1,470,000	44,611

経 費 支 出

科 目	決算額	予算額	比 較
会 議 費	102,572	150,000	47,428
通 信 費	302,030	370,000	67,970
事 務 用 品 費	7,390	20,000	12,610
慶 弔 費	96,000	50,000	△ 46,000
同 窓 会 誌	360,000	360,000	0
同 窓 会 だ よ り	83,000	100,000	17,000
雑 費	115,350	100,000	△ 15,350
郵 便 振 替 料 金	1,990	10,000	8,010
印 刷 費	40,000	170,000	130,000
旅 費 交 通 費	0	10,000	10,000
支 部 交 付 金	0	30,000	30,000
総 会 懇 親 会 費	50,000	50,000	0
新 聞 函 書 費	0	0	0
予 備 費	0	50,000	50,000
当 期 剩 余 金	356,279	0	356,279
合 計	1,514,611	1,470,000	44,611

昭和53年度運営会計経費収支決算報告書

抛 出 収 入

科 目	決算額	予算額	比 較
終 身 会 費	1,950,000	1,490,000	460,000
受 取 利 息	97,762	100,000	△ 2,238
合 計	2,047,762	1,590,000	457,762

経 費 支 出

科 目	決算額	予算額	比 較
会 議 費	163,174	150,000	△ 13,174
通 信 費	302,700	300,000	△ 2,700
事 務 用 品 費	5,210	20,000	14,790
慶 弔 費	93,000	70,000	△ 23,000
同 窓 会 誌	400,000	400,000	0
同 窓 会 だ よ り	0	0	0
雑 費	9,172	100,000	90,828
郵 便 振 替 料 金	3,290	10,000	6,710
印 刷 費	43,500	50,000	6,500
旅 費 交 通 費	0	10,000	10,000
支 部 交 付 金	0	30,000	30,000
名 簿 追 補 版	230,000	250,000	20,000
新 聞 函 書 費	0	0	0
予 備 費	0	200,000	200,000
当 期 剩 余 金	797,716	0	797,716
合 計	2,047,762	1,590,000	457,762

貸借対照表

昭和53年3月31日現在

資産の部		負債および基金の部	
流動資産	8712,199	流動負債	1,400,000
現金	16313	未払金	0
郵便貯金	670,165	前受金	1,400,000
銀行預金	4,265,721	仮受金	0
未収金	3,760,000	基金	7,330,279
固定資産	18,080	基金	1,400,000
什器備品	18,080	固定資産基金	18,080
		減価償却引当金	19,320
		剰余金	6,704,569
		名簿特別会計剰余金	△811,690
合計	8,730,279	合計	8,730,279

十周年記念名簿特別会計

経費収支決算報告書

拠出収入

科目	金額
51年度 剰余金	△ 1,046,190
52年度 売上	124,500
53年度 売上	109,000
合計	△ 811,690

昭和54年度同窓会運営会計

経費収支予算案

拠出収入

科目	金額
終身会費	1,600,000
受取利息	150,000
合計	1,750,000

経費支出

科目	金額
会議費	150,000
通信費	300,000
事務用品費	30,000
慶弔費	100,000
名簿追補版	250,000
同窓会だより	100,000
雑費	100,000
郵便振替料金	10,000
印刷費	100,000
旅費交通費	10,000
支部交付金	30,000
総会懇親会会計繰出金	50,000
新聞図書費	20,000
予備費	500,000
合計	1,750,000

監査報告書

厳正なる監査の結果、会計帳簿は正確かつ明確に記帳されており、収入・支出とも適正で、昭和52、53年度収支決算報告書及び貸借対照表の記載に相違がないことを認めます。

昭和54年10月28日

監事 水上重徳 ㊟

坂井徳尙 ㊟

昭和52年度・昭和53年度業務報告

会長 望月俊和

- 主なものをまとめて報告します。
- 52年 7月 就職に対する説明会
 - 52年 8月 新理事歓迎ソフトボール大会
 - 52年 9月 「会誌第7号」発行
 - 52年 11月 総会開催
(次期三役決定)
 - 53年 2月 「同窓会だより6号」発行
 - 53年 2月 卒業生に対する同窓会活動の説明会開催
 - 53年 3月 母校卒業式三役出席
* * *
 - 53年 6月 新旧三役と会校長との懇談
 - 53年 6月 顧問教職員と理事との懇親会
 - 53年 8月 新理事歓迎会
 - 53年 11月 「会誌第8号」発行
「住所変更者・新入会員名簿」発行
 - 54年 2月 卒業生に対する同窓会活動の説明
 - 54年 3月 母校卒業式三役出席

昭和54年度業務計画及び中間報告

会長 望月俊和

- 主要なものをまとめて報告します。
- 54年 7月 新入理事歓迎会
 - 54年 10月 総会開催
(次期三役決定)
 - 55年 1月 「同窓会だより7号」発行予定
 - 55年 1月 「住所変更者・新入会員名簿」発行予定
 - 55年 2月 卒業生に対する同窓会活動の説明予定
 - 55年 3月 母校卒業式三役出席予定

昭和54年度同窓会総会懇親会会計決算報告

抛 出 収 入

総 会 費	50,000円(運営会計より繰入)
懇 親 会 費	296,000円(2,000×148名)
寄 附 金	36,000円
合 計	382,000円

経 費 支 出

オ ー ド ブ ル	337,000円
飲 物	39,900円
剰 余 金	5,100円
合 計	382,000円

剰余金は運営会計へ繰入れました。

昭和55及び56年度同窓会三役改選

現三役の任期が、昭和55年3月で満了になるのに伴い、会則5章第8条により、次の方々を理事会において選出し、昭和54年10月の総会で満場一致の承認を得ました。

新三役は、2年間、更に一層同窓会の発展を推進していただくよう、会員一同の御協力をお願いいたします。

記

会 長	仁 科 和 晴(M2)
副会長	近 藤 博 明(M8)
事務長	坂 井 徳 尚(M6)

新 会 長 あ い さ つ

M2 仁 科 和 晴

同窓会は、どの学校にもあり、それなりに目的とするところがあるので、このような会があると思います。中にはスポーツクラブの後援会的で、資金集めが最大の目的のところもあるでしょう。同窓会の活動は名簿の整理等地味なものが多く、会員も同窓会の仕事に積極的に参加しようとする人は少ないと思います。通常はその存在も忘れているかもしれません。しかし時には、同窓会の行事に参加し、忘れていた友と語りあるいは、先輩、後輩と新たに、親睦を深め友達を増すよう考えてみてはいかがでしょうか。だんだん仕事も忙しくなる中で、つい会社関係とか、現在の自分の範囲にいる人とか話さなくなりがちですが、平素は縁遠い人と語り、あるいは新しい友を作るようにして、同窓会を利用して欲しいです。母校の近くに住んだり、勤務している人達は、同窓会の仕事を分担していますが、私も今まで、わずらわしいと思いつつ、その仕事をしていました。はからずも今回会長を引き受けることになりましたが、これを何かの縁と考え、より多くの人達と改めて友達となれるよう、努力したいと思います。

よろしく御支援の程、お願い致します。

新 副 会 長 あ い さ つ

機械工学科8期 近 藤 博 明

拝啓 皆々様

私 このたび 同窓会副会長をやらせていただくことになりました。

同窓生相互のかけ橋の橋脚の一部にでもなればと思います。

よろしく申し上げます。

事務長就任にあたって

M6 坂 井 徳 尚

現在 私は 沼津駅の北口より歩いて8分ぐらいの双葉町という町に住んでいます。

私のとりえは、仕事の都合で銀行に行く事が多く、同窓会のお金の出し入れが容易であるということぐらいですが、会長をはじめとして副会長、理事の方々にいろいろと教えていただき、任期の2年間をつつがなく過ごさせてもらえるよう、最善を尽くしてゆきたいと思います。

どうぞよろしくお願い致します。

第17回東海地区高専大会観戦記

7月13日、東名日本坂トンネル事故直後の日、朝8時沼津よりバスに揺られ選手団は鈴鹿に向けて出発。うんざりするほどの車の渋滞を身にしみながら。こうゆう強行軍では試合にさしつかえるのではないかと少し心配。

午後5時到着。会場の下見と軽い練習で終る。

7月14日。この2～3年は各地区に分散して行っていたのであるが、今回は鈴鹿校長のひとりで、鈴鹿にて一斉に開催。やはり高専大会はまとまって行った方がよい。学生にはよい思い出となる。

天気はくもり、暑い夏の日が出ず、選手にとっては最良。だがあまりよい知らせは聞こえてこない。その中で軟式庭球の健闘が光る。軟庭は苦戦をしいられ、薄氷を踏む思いであったが、作戦がものみごとの中2年ぶり5度目の団体優勝を果たした。これは豊田と並ぶものであり、軟庭沼津の声も聞かれた。

卓球は最後豊田戦に2-3負けで惜しくも2位、少し精神的に弱いところも見られ、残念であった。

ハンドボール、サッカーは力不足で2位、だが明年が期

待される。

弓道は今大会が第1回目であり、沼津、鈴鹿、豊田が参加。武道が強い鈴鹿に届かず2位。体操も3校出場にて2位に終る。

7月15日。くもり一時小雨。団体戦は昨日から続く種目もあり。水泳はみごとと言うほかない。5年連続の団体優勝。まさに水泳国王沼津と言えよう。伝統は時間をかけて作られる。この水泳部の成績は渥美顧問なくしては達しえなかったものであり、まさに頭の下がる思いである。

野球は善戦し決勝進出したが惜しくも敗れた。その他団体は振わなかった。

個人戦は卓球がすばらしい。昨日のうっぶんを晴らすかのようにダブルス、シングルスとも1、2位独占した。軟庭はベスト4に2組入ったが、卓球とは逆に、昨日の団体優勝の気のゆるみか2位と4位に終る。他個人では陸上の走高跳で全国大会の出場権を得たにとどまった。

全体をとおして見ると、今大会は団体優勝の数は、鈴鹿5、豊田4、岐阜3、沼津2、鳥羽0の順であり、主催校鈴鹿の活躍が目立った。沼津は昨年同様に低迷した結果に終った。

いかにしていい戦績が残せるかが今後の問題であるが、ひとつ、学生、教官のクラブも含めた学校教育(特に心)に対する取り組み方に甘さが見られるのである。よく考えて頂きたい。

過去の栄光よもう一度。我々卒業生も、OB会などの組織を強化し、コーチを送りあるいは金銭的援助に力を貸そうではないか。

第17回東海地区国立高等専門学校体育大会

総 合 成 績 表

種目		順位	優 勝	2 位	3 位	
陸 上 競 技			豊 田	鈴 鹿	岐 阜	
バレーボール			豊 田	岐 阜	鈴 鹿	
バスケットボール			岐 阜	豊 田		
軟式庭球	団 体 の 部		沼 津	豊 田	岐 阜	
	個 人 の 部		佐藤・最川 (岐阜)	山田・市川 (沼津)	西川・伊藤 (豊田)	
硬式庭球	団 体 の 部		豊 田	鈴 鹿	沼 津	
	個 人 の 部	ダブルス	山田(豊田) 小林	大井(豊田) 加藤	()	
		シングルス	山田(豊田)	小林(豊田)		
卓 球	団 体 の 部		豊 田	沼 津	鈴 鹿	
	個 人 の 部	ダブルス	大石(沼津) 山崎	吉田(沼津) 辻田	山下(豊田) 小沢	
		シングルス	吉田(沼津)	辻田(沼津)	小沢(豊田)	
サ ッ カ ー			鈴 鹿	豊田・沼津		
ハンドボール			岐 阜	沼 津		
柔 道	団 体 戦 部	全国大会予選	鈴 鹿	鳥 羽	岐 阜	
			勝 抜 戦	鈴 鹿	鳥 羽	豊 田
	個 人 戦 部	軽 量 級	佐藤(鳥羽)	中谷(岐阜)		
		中 量 級	薫森(鈴鹿)	小倉(鈴鹿)		
重 量 級		長谷川(岐阜)	長谷川(鈴鹿)			
剣 道	団 体 戦 部	全国大会予選	鈴 鹿	豊 田	鳥 羽	
			勝 抜 戦	岐 阜	鳥 羽	鈴 鹿
	個 人 戦 の 部		中西(鳥羽)	野田(鈴鹿)	和田(鈴鹿)	
硬 式 野 球			岐 阜	沼 津		
体 操	団 体 の 部		鈴 鹿	沼 津	豊 田	
	個 人 の 部	床 運 動	森岡(豊田)	伊東(沼津)	山口(沼津)	
		跳 馬	森岡(豊田)	藤牧(鈴鹿)	山口(沼津)	
水 泳 競 技			沼 津	豊 田	鳥 羽	
弓 道			鈴 鹿	沼 津	豊 田	
ラグビー・フットボール			11月に行なわれる。			

全国高専大会報告

第14回全国高専大会(奈良)

陸上は走高跳に中野君が出場したが、記録1m70で入賞はできなかった。

卓球は個人戦に出場した。ダブルス、吉田・辻田組は準々決勝まで進出したが惜しくもベスト4に入れなかった。大石・山崎組は2回戦敗退。シングルスは吉田君が2回戦、辻田君は1回戦で終った。

軟式庭球は団体で一昨年の準優勝が期待されたが予戦リーグで不覚をとり、信じられないような負け方をしてしまい、ベスト4に入れなかった。これをよい教訓としてもらいたい。個人戦は山田・市川組が予戦リーグ2位になりながらも決勝トーナメントに進出できなかった。

第6回全国高専ハンドボール大会(大阪)

1回戦津山高専と対戦し、19-13で敗れた。

第1回全国高通信弓道大会

みごと第3位となる。

まだ日浅いクラブであり今後も楽しみである。

慶 弔 報 告

機械工学科の深沢稔技官には、かねてより入院加療中でしたが、薬石の効なく、去る1979年10月17日に逝去されました。深沢技官は、十数年間母校に勤務され、機械実習・工学実験・応用物理の助手をされてきました。特に、卒業研究に応用物理を選択された会員諸兄には、お人柄を御存知の方も多かろうと思います。慎しんで、御冥福をお祈りいたします。

会員諸兄へのお願い

故深沢技官の御夫人ならびに御子息たち(中学生)の今後の御苦勞を軽減する手助けをしたいという主旨で、母校校長ならびに教官が発起人になって、「故深沢氏遺児教育資金」を募っております。同窓会としても、母校に長く勤務され、又、会員諸兄の中にも、在学中に親しくされた方も多いという状況から判断して、会員からの募金を募ることになりました。

有志の方は下記内容に従って、御協力をお願いいたします。

- (1) 募 金 額 1口 1,000円
- (2) 申し込み方法 同封の振替用紙にて、同窓会事務局あて御送金下さい。尚、通信欄に遺児教育資金と御記入下さい。
- (3) 申込〆 切日 昭和55年3月29日

就 職 概 況

藤野紫郎教授

昭和55年3月卒業予定者の就職内定状況は下記のようなのですが、今年はこちら数年来の好況で求人件数、求人数ともに前年を大きく上廻った。これは企業側の減量経営が一段落して、定常状態に移行していったのが一つの原因と考えられる。

昭和55年3月卒業予定者の就職状況調 (昭和54年12月1日現在)

(学校名) 沼津工業高等専門学校

学 科 名	卒業予定者 名	進学希望者 名	進学決定者 名	就職希望者 名	就職内定者 名	内 定 率 %	求人件数 社	求 人 数 名	求人倍率 倍
機械工学科	70	14	13	56	54	96	372	665	11.88
電気工学科	30	7	7	23	22	96	393	719	31.26
工業化学科	37	8	7	29	28	97	207	386	13.31
合 計	137	29	27	108	104	96	972	1,770	16.89

◎ 就職未内定者の4名(機械工学科2名、電気工学科1名、工業化学科1名)は、公務員志望(国家公務員1名、地方公務員3名)である。

◎ 主な就職先

機械工学科：富士通・松下電器・日立製作所・三菱電機・トヨタ自動車・東芝機械・電業社機械製作所……等
 電気工学科：東芝電気・トヨタ自動車・富士通・日本電気・中部電力・東京電力・日本電々公社……………等
 工業化学科：本田技研・トヨタ自動車・富士通・藤沢薬品・住友化学・旭化成……………等